

東京農業大学と「持続可能な開発協力に関する包括連携協定」を締結

環境修復保全機構は、東京農業大学（東京都世田谷区桜 1-1-1、学長：高野克己）と包括連携協定を締結しました。本協定の目的は、双方が持続可能な開発協力に資する研究、国内外の人材育成、適正技術の普及等について連携することです。協定締結式は、2017年7月27日（木）に東京農業大学世田谷キャンパス農大アカデミアセンター9階学長室会議室で行われ、東京農業大学からは高野克己学長、夏秋啓子副学長、坂田洋一国際協力センター長、鈴木貢次郎国際協力センター副センター長、岩井慎一国際協力センター事務室長、後藤菜穂氏が出席し、環境修復保全機構からは三原真智人理事長、河邊久美子理事、上野貴司理事、三輪幸司普及センター事務室長、寺内忍研究センター事務室長が出席して協定書の締結を取り交わしました。

東京農業大学と環境修復保全機構との主な連携実績は、次のとおりです。

(1) 持続可能な開発協力に資する研究に関する事項

- ・ International Conference on Environmental and Rural Development（2009年度～）
- ・ 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）・熊本地震関連国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）「熊本地震による農山村地域の被災状況に関する現地調査と農業基盤情報を取り入れたGISデータベースの構築」（2016年度）等

(2) 持続可能な開発協力に資する国内外の人材育成に関する事項

- ・ 公益社団法人国土緑化推進機構・緑の国際ボランティア研修（2012年度～）
- ・ 独立行政法人国際協力機構（JICA）・日系研修員受入事業（2014年度～）等

(3) 持続可能な開発協力に資する適正技術の普及に関する事項

- ・ 文部科学省、国際協力イニシアティブ・教育協力拠点形成事業「NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築」（2006年度～2009年度）
- ・ 独立行政法人国際協力機構（JICA）・草の根技術協力事業（草の根パートナー型）「カンボジア国コンポンチャム州における持続可能な農業生産環境の構築」（2011年度～2015年度）等

